

なみあい高原ブランド育成事業

取り組みに至る背景・事業の目的

国道153号線沿いに位置する治部坂高原は、愛知・静岡方面からの玄関口であるとともに、村のシンボルともいえる重要な観光地であり、多くの観光客が訪れる。

また、「標高1,200mのあま〜いとうもろこし」は特産品として定着しつつあるとともに、なみあいの星空は全国1位にも選ばれた貴重な地域資源である。これらを住民の協力を得ながら一体的にPRしていくことにより、観光誘客を図る。

事業内容

- いいはな（1,187m）治部坂高原を守ろう
特色ある自然を活かした高原を地域住民が守っていくため、地域のシンボルでもあるレンゲツツジなどを植栽する。
- なみあいとうもろこしを未来へつなげよう
地域の特産品である「なみあいとうもろこし」の作付け拡大と販売エリアの拡大を図るため、パンフレットを作成し、中京方面にて直売等を行った。
- なみあいの星空を観光資源として売り出そう
光害がなく、空気がきれいな浪合地区において星空観望会を開催し、観光誘客を図るとともに、環境保全について考える契機としていく。

事業効果

- 住民が、自ら住む地域への愛着を深めることに繋がった。
- とうもろこしの作付け拡大（遊休農地利用約2,300㎡）につながるとともに、名古屋市のホテルにおいて、「なみあいコーンのピシブワーズ」などとしてメニューに採用された。
- 星空観望会の開催により、観光客が増加するとともに、なみあいの「日本一の星空」を知ってもらうことができ、「星」を地域経済の活性化につなげる可能性を見いだすことができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

とうもろこし以外にも、なみあいの食材を紹介・提供し、販路拡大につなげていくため、ホテルとの連携を図る。

また、地域への愛着を深めるため、植栽活動も継続して行うとともに、地域内の宿泊施設等とも連携を図りながら「なみあい星空観望会」の誘客拡大を図っていく。

【選定のポイント】

中山間地域において、限られた資源を最大限活用し、住民が協働して付加価値を高めることにより、着実に知名度向上と誘客の増加に繋がっている。



団体名 浪合観光協会（阿智村）
連絡先 阿智村地域経営課 0265-43-2220
メールアドレス kanko@vill.achi.nagano.jp

事業タイプ ソフト事業
事業費 2,962,441円
支援金額 2,950,000円